

# 2025 年度事業報告書 )

## 1. はじめに

2025 年度の我が国の経済は、米国の関税政策により製造業への下押し影響があったものの、企業の設備投資と物価上昇局面ながらも底堅い個人消費に牽引されて緩やかな回復が続きました。

当工業会が属する鉄鋼業界では、内需は、資材高・人手不足等を理由に建設分野は減少となり、製造部門でも自動車分野で内外需に勢いを欠く等、総じて低調に推移しました。外需も、中国からの全世界向け鋼材輸出量が過去最高となった影響を受け、アジア向けを中心に日本からの鋼材輸出量は減少しました。これにより、2025 年度の国内粗鋼生産量は前年度比 3.2%減の 8,033 万トンと、4 年連続の減産となりました。

このような中、2025 年度の日本の鉄リサイクル業界では、内需は粗鋼生産量減少の影響で消費量が落ち込んだものの、外需は円安を背景に鉄スクラップ輸出が東南アジア向けを中心に増加し、前年比 10.6%増の 753 万トンとなりました。鉄スクラップの環境価値や重要性への認識が一層高まる中、2025 年度の平均価格（H2、関東・中部・関西 3 地区平均）は前年度比 2,400 円安の 41,900 円となったものの、引き続き高値圏での推移となりました。

日本鉄リサイクル工業会としては、2022 年度より取組みの方向性を、

- I. 全国 7 支部 9 委員会を通じた、会員企業の現状及び課題の把握
  - II. 把握した課題解決に向けた方策の検討・実施
  - III. 鉄スクラップの一層の循環促進についての行政や関連団体との議論・協議
  - IV. 鉄リサイクル業界の社会的認知度の向上
- の 4 つに整理し、2025 年度も各種会議においてはオンラインやハイブリッド形式をフルに活用し、積極的な事業活動を継続し、相応の成果を達成したと考えます。

2025 年度の具体的な事業活動につきましては以下をご参照頂きますが、会員各位の日頃のご支援、ご協力に関し、改めて御礼を申し上げます。

## 2. 事業概要

### <主要取り組み事業>

#### I. 会員企業の現状と抱えている課題の把握

##### (1)「委員会、支部、部会の各種活動の活性化と連携強化」

当工業会が直面する諸課題についてタイムリーに把握・集約し、会員の意見等を十分に踏まえた的確な対応を図るために、臨時も含めて運営委員会を年6回開催し、各支部長ならびに委員会委員長から会員各社の現状や抱えている課題の把握に努め、課題解決に向けた対応が図られるよう検討を行った。

加えて、支部・部会においても、定例のイベントに加え、独自の講演会・勉強会・研修会の開催や、個別ニーズに応じた独自組織の運営等を行った他、製鉄メーカーの賛助会員を交えて連携強化を図った。

##### (2)「鉄スクラップの新名称の検討」

2020年10月、菅元総理の2050年カーボンニュートラル宣言以降、脱炭素や循環経済の実現を国家戦略として着実に推進すべく関係閣僚会議等にて議論が進められている。このような中で、鉄スクラップの環境価値は一層高まっており、今後は製品としての鉄スクラップに対し品質の高度化が求められることが想定されている。

2025年6月の第30回全国大会(札幌)において会長より製品としての鉄スクラップの新名称につき検討してはとの提案があった。以降、新名称検討の可否につき各支部を通じ会員のご意見を伺ったところ、特段の異論はなく、2026年3月の運営委員会、理事会にて新名称を検討することが了承された。

【本部他】

#### II. 把握した課題解決に向けた方策の検討・実施

#### III. 鉄スクラップの一層の循環促進についての行政や関連団体との議論・協議

#### IV. 鉄リサイクル業界の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

上記II～IVに向けた2025年度の各委員会活動の主な概要は、以下の通りです。

### <総会、理事会及び委員会活動>

#### (1)第50回通常総会(2025年6月5日(木) 於:グランドメルキュール札幌大通公園)

- 第1号議案 議事録署名人選任の件
- 第2号議案 2024年度事業報告書(案)承認の件
- 第3号議案 2024年度決算報告書(案)承認の件
- 第4号議案 2025年度事業計画書報告の件

- 第 5 号議案 2025 年度予算書報告の件
- 第 6 号議案 役員選任の件
- 第 7 号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を  
会長に委任の件

## (2)理事会(6 回)

### ◆第 179 回理事会(2025 年 5 月 14 日)【ハイブリット開催】

#### [報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
  - ① 第 35 回全国大会(北海道支部主催)開催の準備状況
- (3)その他

#### [審議事項]

- (1)2024 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)
- (2)役員を選任について
- (3)感謝状贈呈候補者(案)
- (4)第 50 回通常総会次第(案)
- (5)臨時理事会(6 月 5 日開催)審議事項(案)
- (6)委員の交代(案)
- (7)その他

### ◆臨時理事会(2025 年 6 月 5 日)

#### [審議事項]

- (1)業務執行理事・副会長の選定の件

### ◆臨時理事会(2025 年 9 月 24 日)

#### [報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)最近の活動状況及び主なトピックスについて
  - ①「適正ヤード推進委員会」の検討状況
  - ② 経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼 WG について
  - ③ 米国出張関連
- (3)その他
  - ①今後のスケジュール等について

#### [審議事項]

- (1)鉄スクラップの新名称の検討について
- (2)役員交代(案)

◆第 180 回理事会(2025 年 11 月 26 日)

[報告事項]

- (1)最近の活動状況及び主なトピックスについて
  - ①各支部 2026 年「新年賀詞交歓会」の開催日時
  - ②2026 年「新年賀詞交歓会」(本部・関東支部共催)の開催要領について
  - ③各支部 2026 年「定時総会」の開催日時
  - ④第 36 回全国大会(関東主催)開催の準備状況
  - ⑤「適正ヤード推進委員会」について
- (2)経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼 WG について
- (3)BIR コンベンション(バンコク)出張報告
- (5)普通鋼電炉工業会との懇談会開催(11 月 25 日))
- (6)その他

[審議事項]

- (1)2025 年度中間決算(案)について
- (2)その他

◆臨時理事会(2026 年 3 月 18 日)【オンライン開催】

[報告事項]

- (1)廃掃法改正に関する経過報告と今後の進め方について

◆第 181 回理事会(2026 年 3 月 25 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)代表理事及び業務執行理事の業務執行状況の報告
- (2)最近の活動状況報告および主なトピックスについて
  - ①第 36 回全国大会(関東支部主催)開催の準備状況
  - ②2026 年度「各支部定時総会」の開催
  - ③「適正ヤード推進委員会」の検討状況
    - i)廃掃法改正に関する動向
- (3)その他
  - ①経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼 WG について
  - ②今後のスケジュール等について

[審議事項]

- (1)2026 年度事業計画(案)及び 2026 年度収支予算(案)について
- (2)鉄スクラップの新名称の検討可否について
  - ①各支部での検討状況
  - ②今後の進め方
- (3)ハラスメント規定について
- (4)人事案件
- (5)その他

### (3)運営委員会

#### <委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1)工業会の事業計画、事業報告及び予決算に係る事項の検討
- (2)工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3)各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4)関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

#### <委員会開催> (6回)

##### ◆2025年度第1回運営委員会(2025年5月8日)【ハイブリット開催】

###### [報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
  - ①第35回全国大会(北海道支部主管)開催の準備状況
  - ②2025年度各支部「定時総会」の開催
- (2)その他

###### [審議事項]

- (1)2024年度事業報告書(案)及び2024年度決算報告書(案)
- (2)理事の交代(案)
- (3)役員を選任について(案)
- (4)感謝状贈呈候補者(案)
- (5)第50回通常総会次第(案)
- (6)第180回理事会(6月5日開催)審議事項(案)
- (7)委員の交代(案)
- (8)その他

##### ◆2025年度第2回運営委員会(2025年9月12日)【ハイブリット開催】

###### [報告事項]

- (1)各支部ならびに各委員会の活動状況報告及び直近のトピックス
  - ①「適正ヤード推進委員会」について
  - ②経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼WGについて
- (3)その他
  - ①米国出張関連
  - ②今後のスケジュール等について

###### [審議事項]

- (1)鉄スクラップの新名称の検討について
- (2)委員の交代(案)
- (3)その他

##### ◆2025年度第3回運営委員会(2025年11月20日)

###### [報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告

- ①各支部 2026 年「新年賀詞交歓会」の開催日時
  - ②2026 年「新年賀詞交歓会」(本部・関東支部共催)の開催要領について
  - ③各支部 2026 年「定時総会」の開催日時
  - ④第 36 回全国大会(関東主催)開催の準備状況
  - ⑤「適正ヤード推進委員会」について
- (2)経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼 WG について
- (3)ReMA 訪問報告(米国)
- (4)BIR コンベンション報告(バンコク)
- (5)2025 年度 HS コードの改訂について
- (6)その他
- ①鉄スクラップの新名称の検討可否について
- [審議事項]
- (1)2025 年度中間決算(案)について
  - (2)その他

◆臨時運営委員会(2026 年 1 月 30 日)【オンライン開催】

[報告事項]

- (1)廃掃法改正に関する検討状況と今後の対応

◆2025 年度第 4 回運営委員会(2026 年 3 月 11 日)【ハイブリット開催】

[報告事項]

- (1)各支部の活動報告・直近のトピックス及び各委員会の活動状況の報告
- (2)「適正ヤード推進委員会」の検討状況
  - ①廃掃法改正に関する動向

◆臨時運営委員会(2026 年 3 月 17 日)【オンライン開催】

[報告事項]

- (1)直近のトピックス
  - ①第 36 回全国大会(関東支部主催)開催の準備状況
  - ②2026 年度「各支部定時総会」の開催
- (2)その他
  - ①経産省サーキュラーパートナーズ(CPs)鉄鋼 WG での検討状況

[審議事項]

- (1)2026 年度事業計画(案)及び 2026 年度収支予算(案)
- (2)鉄スクラップの新名称の検討可否について
  - ①各支部での検討状況
  - ②今後の進め方
- (3)ハラスメント規定について
- (4)人事案件
- (5)その他

#### **(4)財務委員会**

##### **<委員会活動・事業>**

支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。  
特に、剰余金が減少傾向にある中、決算の健全性を高めるための収支改善策を議論した。

##### **<委員会開催> (3回)**

###### **◆2025年度 第1回 財務委員会(2025年5月2日)【ハイブリッド開催】**

- (1)2024年度決算(案)について
- (2)その他

###### **◆2025年度 第2回 財務委員会(2025年11月14日)【ハイブリッド開催】**

- (1)2025年度中間決算(案)について
- (2)その他(懇親会開催)

###### **◆2025年度 第3回 財務委員会(2026年3月9日)【リモート開催】**

- (1)2026年度予算(案)について
- (2)その他

#### **(5)商社流通委員会**

##### **<委員会活動・事業>**

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することにより工業会活動の支援を行った。今期は、経済産業省より提示された輸出貿易品目コード見直しの提案に関し、鉄スクラップ輸出の実情を踏まえ議論を行った。また、第2回目の委員会では廃掃法改正案に関しても議論を行った。

##### **<委員会開催> (2回)**

###### **◆2025年度第1回商社流通委員会(2025年6月18日)**

輸出貿易品目コードの見直しに関し、港湾委員会と合同委員会を開催(ハイブリッド)し、議論を行った。

###### **◆2025年度第2回商社流通委員会(2026年3月19日)**

輸出貿易品目コードの見直し、廃掃法改正案等に関し、港湾委員会と合同委員会を開催(ハイブリッド)し、両案件を中心に議論を行った。

## (6)業務対策委員会

### <委員会活動・事業>

#### (1)労働安全衛生講習の動画配信

講師:産業振興(株)安全環境防災部長

講習テーマ:①守り守らせる安全訓 ②リスクアセスメント ③熱中症予防対策と救急措置

#### (2)会員への労働安全衛生活動支援

##### ①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

##### ②危険体験学習会を開催(2025年10月3日)

参加者22名(うち報道関係者1名) 於:(株)白川商店

##### ③労働安全ポスターを作成・配布。標語として「危険の芽 摘んで安全 咲く笑顔」を選定

##### ④過積載防止ポスターを作成・配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施 過積載ポスターの塗り絵コンテスト」を実施、80応募作品から1位～3位を表彰

##### ⑤業界独自の労働災害・事故事例の収集調査を実施。結果をHP会員ページに掲載。また災害・事故対策好事例調査を併せて実施

#### (3)災害団体保険の加入者募集。電子申請を推進

#### (4)適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応

「金属リサイクル伝票の電子化」のシステム構築・運用開始

### <委員会開催>(3回)

#### ◆2025年度第1回業務対策委員会(2025年8月7日)【ハイブリット開催】

##### (1)2025年度事業計画への具体的取組みについて

###### ①2025年度事業計画について

###### ②労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)について

###### ③危険体験学習会の開催について

###### ④労働災害・事故事例調査及び災害安全対策好事例調査の実施について

###### ⑤安全ポスター及び過積載防止ポスターの制作について

・2025年版「過積載ポスター」の塗り絵コンテストの実施について

###### ⑥災害共済団体保険「東京海上日動火災保険(株)」について

###### ⑦金属リサイクル伝票の電子化の運用状況について

###### ⑧その他

##### (2)情報交換

#### ◆2025年度第2回業務対策委員会(2025年10月27日)【ハイブリット開催】

##### (1)2025年度事業計画への具体的取組みについて

###### ①労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)について

###### ②「労働災害・事故事例調査」「災害・事故対策好事例調査」経過報告について

###### ③金属業界における産業事故、地震・台風等の自然災害による被害、防災関連法

違反発生時における対応について【リマインド】

- ④危険体験学習会の開催結果報告
- ⑤安全ポスター及び過積載防止ポスターの制作について
  - ・2025年版「過積載ポスター」の塗り絵コンテストの実施について
- ⑥「災害共済団体保険」について
- ⑦金属リサイクル伝票の電子化について
- ⑧その他

(2) 情報交換

◆2025年度第3回業務対策委員会(2026年1月27日)【ハイブリット開催】

(1) 2025年度事業計画への具体的取組みについて

- ①団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- ②「金属リサイクル伝票」の電子化の状況について
- ③2025年度労働災害・事件事例調査の結果について
- ④2025年度労働安全衛生講習の動画作成、配信(会員向けHP掲載)について
- ⑤2025年版「過積載ポスターの塗り絵コンテスト」の選考について
- ⑥2026年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ⑦その他

(2) 情報交換

**(7)環境委員会**

<委員会活動・事業>

- (1) 一般(学生等)向けの業界紹介(環境PR)コンテンツ制作  
一般(学生等)に理解しやすい業界PR素材「うまれかわる鉄」(動画及びパンフレット)を制作。若い世代をターゲットとし当業界の理解促進を目的とする。
- (2) 外部専門機関の講師による委員会内での講演・勉強会  
合同会社デロイトトーマツ シニアマネジャー 浅野長仁 様、コンサルタント 薛 芳様をお招きして、勉強会「トランプ関税と米国・日本の鉄スクラップ業界へ与える影響」を実施した。
- (3) 2025年度環境委員会主催「定例講演会」  
事前録画した講演動画を期間限定【2026年3月9日(月)～3月27日(金)】でYouTubeにて会員に公開した。内容は以下の通り。

【講演1】

トランプ関税と米国・日本の鉄スクラップ業界へ与える影響  
～トランプ第2次政権樹立による鉄リサイクル業への影響第2弾「トランプ関税編」～  
講師: 合同会社デロイトトーマツ シニアマネジャー 浅野長仁 様

## 【講演 2】

GX を取り巻く環境と鉄リサイクル業界における戦略

～GX(グリーン トランスフォーメーション)は鉄リサイクル業に～追い風となるか～

講師:東京海上日動火災保険株式会社 GX 室 ユニットリーダー 南谷紗友理 様

## 【講演 3】

資源循環政策に関する最近の動向について

～再資源化事業化高度化法、ヤード問題に向けた法制化等 加速化する資源循環政策～

講師:環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課課長補佐(総務課資源循環制度企画官併任) 山田浩司 様

<委員会開催> (3 回)

### ◆2025 年度第 1 回環境委員会(2025 年 7 月 31 日)【ハイブリッド開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 2025 年度事業の進捗状況について
- (3) 各種法制度改正等に向けた関係省庁における検討状況について

### ◆2025 年度第 2 回環境委員会(2025 年 12 月 12 日)【ハイブリッド開催】

- (1) 勉強会 ～トランプ関税の詳細と鉄スクラップ業界への影響～  
講師:合同会社デロイトトーマツ シニアマネジャー 浅野長仁 様
- (2) 2025 年度事業の進捗状況について
- (3) 次年度事業計画について意見交換

### ◆2025 年度第 3 回環境委員会(2026 年 2 月 18 日)【ハイブリッド開催】

- (1) 2025 年度事業の進捗状況について
- (2) 次年度事業計画について
- (3) 情報交換、事務局からの連絡事項

## (8) 広報委員会

<委員会活動・事業>

### (1) 鉄スクラップの環境価値CO2マイナス1.28tピンズを制作

日本鉄鋼連盟がISO規格に準拠して5年毎に見直しを行っている鋼材ごとの LCI データ及びその計算の前提となる鉄スクラップのLCIデータに基づき算出している「鉄スクラップの環境価値」の数値(鉄鋼製造1tあたりCO2マイナス1.39t)が2024年12月にCO2マイナス1.28tに更新されたことにより、新たにCO2マイナス1.28tのピンズを制作。2025年5月、会員各事業所宛て1個を発送した。

### (2) 鉄スクラップの環境価値CO2マイナス1.28tの15秒PR動画を制作

既存の動画素材を活かし、AI によるナレーションを新たに追加して鉄スクラップの環境価値 CO2 マイナス 1.28t の 15 秒 PR 動画を制作した。2025 年 6 月 5 日開催「第 35 回全国大会(北海道支部主管)」にて公開。

- 同時に2025年6月5日～7月5日にYouTube広告、TVer広告で全国配信した。
- (3) 工業会創立50周年記念会員章プレート  
工業会創立50周年を記念して金属製「一般社団法人日本鉄リサイクル工業会」会員章プレートを製作。2025年7月、工業会正会員及び賛助会員宛て発送した。
  - (4) メール配信サービス  
メール配信サービス「ブラストメール」を利用。各支部事務局より、会員メールリストを収集し登録、2025年7月29日より配信を開始。工業会主催の催事案内、HP更新など各種情報を発信。
  - (5) PRツールを改訂  
前述の通り、2024年12月にCO2マイナス1.28tに更新されたことに伴い、工業会ホームページ内会員向け情報欄に掲載している各種PRツール(ロゴマーク、図案、環境編動画、イメージイラスト)を“CO2マイナス1.28t”バージョンに修正した。
  - (6) 「週刊エコノミスト」へ広告掲載  
週刊エコノミスト(2025 7/22・29 合併号)に鉄スクラップの環境価値PR広告「活かして、へらす」のロゴマークをCO2マイナス1.28tに修正し掲載した。
  - (7) 木谷会長 定例記者会見  
理事会終了後に業界紙、一般紙記者による木谷会長の定例記者会見を開催。  
(2025年5月14日、9月24日、11月26日、2026年3月25日/計4回実施)
  - (8) 業界紙記者による市況解説動画を制作、工業会ホームページ掲載  
<2025年5月、7月、9月、12月/計4回実施>
  - (9) 第21回新発見セミナー21実施  
2026年3月12日～13日に富山、石川にて開催。参加会員36名。  
大谷製鉄株式会社、コマツ栗津工場を見学。
  - (10) 鉄リサイクルニュース発行  
198号(2025年7月30日発行)  
主要記事: 第50回通常総会・第35回全国大会(北海道支部主管)開催  
199号(2026年2月27日発行)  
主要記事: 令和8年新年賀詞交歓会開催
  - (11) 会長と業界紙各社との2026年新春インタビュー実施(2025年12月10日)
  - (12) 当工業会、官公庁からの周知依頼事項等各種情報を発信、HP掲載
  - (13) 2026年工業会カレンダーの作成・配布

<委員会開催> (4回)

◆2025年度第1回広報委員会(2025年8月25日)【ハイブリッド開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) PR動画配信結果について
- (3) 今年度事業の進捗状況について
- (4) 次年度以降の事業について

◆2025年度第2回広報委員会(2025年11月17日)【ハイブリッド開催】

- (1)2026年度に向けた動画配信施策(案)について
- (2)関東支部鯖年会等若手社員による動画制作について
- (3)今年度事業の進捗状況について
- (4)鉄リサイクルニュースの電子化(PDF化)について

◆2025年度第3回広報委員会(2026年1月15日)【ハイブリッド開催】

- (1)2026年度予算案について
- (2)その他

◆2025年度臨時広報委員会(2026年1月29日)【ハイブリッド開催】

工業会関東支部鯖年会が主導する動画制作プロジェクトについて、制作会社からの説明を受け、広報委員会の予算使用および今後の進行スケジュールを検討するために開催。

### (9)自動車リサイクル法委員会

<委員会活動・事業>

- (1)自リ法全般に関する運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。特に、マテリアルリサイクル促進及びASR削減に向けた「資源回収インセンティブ制度」導入のために関係省庁・関係機関との協議を行う。
- (2)産構審・中環審自動車リサイクル合同会議に参加し、破砕業としての意見を具申。
- (3)経産省主導「資源回収インセンティブ制度WG」に参加し破砕業としての意見を発信。
- (4)環境省主導「産官学コンソーシアム」(自動車向け廃プラスチック使用に関する検討会)及び「自動車リサイクルのCN及び3Rの推進・質の向上に向けた検討会」に参加し、破砕業としての意見を発信。
- (5)自動車リサイクル促進センター(JARC)の評議委員として同センターの運営に関わる意見を進言(専務理事)。

<委員会開催> (2回)

◆2025年度第1回自動車リサイクル法委員会(2025年7月22日)

「資源回収インセンティブ制度」に関するアンケート1回目結果の説明及び、今後の進め方について関係者一同と議論をすすめる。

経産省、環境省、JARC等が参加。

◆2025年度第2回自動車リサイクル法委員会(2026年2月12日)

「資源回収インセンティブ制度」に関するアンケート2回目の結果説明及び、今後の進め方について関係者一同と議論をすすめる。

経産省、環境省、日本自動車工業会、JARC、JAERA、ART等が参加。

## (10) 港湾委員会

### <委員会活動・事業>

世界的な CN の流れから将来の鉄スクラップの需要増が見込まれる一方、国内では海上輸送のための船舶不足や陸上ではドライバー不足といった問題が顕在化している。港を中心として物流のあるべき姿を意識しながら活動をすすめた。国土交通省傘下のリサイクルポート推進協議会(国際資源循環部会)とも連携を取りすすめた。

今期は、経済産業省より提示された輸出貿易品目コード見直しの提案に関し、鉄スクラップ輸出の実情を踏まえ議論を行った。また、第2回目の委員会では廃掃法改正案に関しても議論を行った。

### <委員会開催> (2回)

#### ◆2025年度第1回 港湾委員会(2025年6月18日)

輸出貿易品目コードの見直しに関し、商社流通委員会と合同委員会を開催(ハイブリッド)し、議論を行った。

#### ◆2025年度第2回 港湾委員会(2026年3月19日)

輸出貿易品目コードの見直し、廃掃法改正案等に関し、商社流通委員会と合同委員会を開催(ハイブリッド)し、両案件を中心に議論を行った。

## (11) 適正ヤード推進委員会

### <委員会活動・事業>

2023年5月に「適正ヤード推進委員会」を特別委員会として設置されて以降、全国各支部の委員からの不適正ヤードの実態の報告を受けるとともに、オブザーバー参加する各省庁 - 経済産業省、環境省、警察庁 - と情報共有し、ヤード運営の適正化に向けた働きかけを行ってきた。

2025年6月には警察庁による金属盗対策法が成立・公布されるなど、活動は実効性をあげてきた。

### <委員会開催> (2回)

#### ◆第8回適正ヤード推進委員会(2025年8月27日)

- (1) 本部からの報告
- (2) 各委員からの最近の状況の報告
- (3) 関係省庁からのコメント
- (4) その他

#### ◆第9回(臨時)適正ヤード推進委員会(2025年11月20日)

- (1) 警察相談専用電話(#9110)に関する警察庁の説明
- (2) 各委員からの最近の状況の報告
- (3) 関係省庁からのコメント
- (4) その他

## (12) 廃掃法改正に関する活動について

環境省による廃掃法改正に関しては、2024年度以降、同省のヤード環境対策検討会への参加(5回)およびその後の廃棄物処理制度小委員会(8回)の傍聴に加え、同省との意見交換会の開催(5月29日、11月10日)等により情報収集に努めるとともに、当業界としての意見表明を行った。

2025年末に法案の詳細が判明して以降、環境省、経産省と頻繁に会合を持ち、当工業会の利益を十分に考慮するよう強い働きかけを行った。3月5日には環境省の環境再生・資源循環局長、経産省の金属課長との意見交換会を実施した。

その結果、法改正に際しては以下の内容を環境省、経済産業省との間で確認した。

- ・規制対象となる物品の名称には「有害」という呼称を用いない。
- ・不適正ヤード対策の実効性を高め、かつ金属スクラップヤードに関する課題解決に資するため、金属スクラップヤード全体を改正法の規制対象とする。
- ・全国を対象とする法令のため、必要最低限の規制(ナショナル・ミニマム)とする。
- ・政省令等で定める制度設計の検討プロセスには当工業会が委員として参画し、業界の知見や意見を反映する。
- ・規制導入により適正な中小業者に過度な負担がかからないよう配慮する。

## (13) 国際的な活動 - 海外諸団体との交流について

2024年5月に国際ネットワーク委員会が発展的に廃止になった以降も、海外の関係諸団体との連絡は継続している。

2025年9月には会長と専務理事がワシントンのReMA(旧ISRI)本部を訪問し、ReMA会長(Ms. Wiener)との情報交換を行い、交流を図った。また、同年10月にはバンコクにて会長、専務理事、常務参与がBIR世界会議に参加。同日開催された世界業界団体会議にも招待を受ける形で出席した。

## (14) 関係会議

### (1) 第35回全国大会(北海道支部主管)

第35回全国大会は、2025年6月5日(木)にグランドメルキュール札幌大通公園にて開催、全国から約700名の参加を得て開催した。

### (2) 2026年賀詞交歓会

2026年の賀詞交歓会(本部・関東支部共催)は、1月7日(水)にロイヤルパークホテルにて約580名の参加を得て開催した。

### (3) 経済産業省・金属課長との意見交換会

12月11日(木)、経済産業省の金属課長と会長との間で、鉄鋼業界と鉄スクラップ加工業界の動向等につき意見交換を行った。今後も定期的に意見交換会を開催することとなった。

### (4) 経産省 CPs 鉄鋼 WG への出席

2023年12月に発足した経産省の「サーキュラーパートナーズ」の鉄鋼WG(2024年11月設置)には工業会として2025年度も参画(9回)、当業界としての意見表明等を行った。鉄鋼WGでは2030年に向けての鉄スクラップの利活用拡大、将来に予想される高品位スクラップ不足を回避するための方策等につき検討を行った。また、鉄鋼WGの上部組織である「ビジョン・ロードマップ検討WG」は2回開催され、鉄鋼WG等の領域別WGよりロードマップの進捗状況等につき報告があった。

(5) 普通鋼電炉工業会との懇談会

11月25日(火)、普通鋼電炉工業会と当工業会の正副会長による懇談会が開催され、小形棒鋼の需給動向に関する報告や、不適正ヤード問題等に関する情報交換が行われた。

3. 庶務事項

(1) 会 員(2026年3月31日現在)

正会員	684社(専業667、商社16、海外1)
正会員登録事業所	171事業所(専業135、商社36)
賛助会員	115事業所

(2) 役 員 等(2026年3月31日現在)

会 長	1名
副 会 長	4名
専務理事	1名
理 事	3名(会長、副会長、専務理事を除く)
監 事	2名
顧 問	2名
支 部 長	7名
委 員 長	9名
運営委員	17名(含む委員長、以下同様)
財務委員	7名
商社流通委員	12名
業務対策委員	15名
環境委員	11名
広報委員	12名
自動車リサイクル法委員	10名
港湾委員	9名
適正ヤード推進委員	14名

(3) 関係機関への委員派遣

①一般社団法人日本鉄源協会

i)副会長、理事、監事、運営委員会・需給流通委員会等委員派遣 (会長他)

③ 経済産業省、環境省

i)経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (専務理事)

ii)環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (専務理事)

③国土交通省「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (専務理事)

④リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」部会長他 (専務理事他)

⑤公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)

⑥一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)

⑦鉄リサイクル企業年金基金 理事 (専務理事)

#### (4) 関連団体の活動

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

鉄スクラップ関連情報として、年1回「鉄源年報」、3ヵ月に1回「クォーターてつげん」、月1回「てつげん短信」をそれぞれ発行。

(2) リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会(国土交通省主管)

静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施(港湾委員会)。2021年3月には国交省より石狩湾新港・整備事業(総事業費92億円)の新規採択を受ける。

(3) 鉄リサイクル企業年金基金

2026年3月末現在で実施事業所数 196 事業所、加入者数 6,967 名、受給者数 2,998 名、運用資産額(時価)約 104 億円となっており、関連諸事業を推進。

#### (5) 会員動向

区分	2024年度末 会員数	入会	退会	2025年度末 会員数
専業会員	800	7	5	802
商社会員	52	0	0	52
海外会員	1	0	0	1
賛助会員	117	1	3	115
(うち、製鉄メーカー)	(58)	(0)	(0)	(58)
計	970	8	8	970

注: 専業会員、商社会員には登録事業所を含む。

#### ① 2025年度 新入会員

● 専業会員

<北海道支部>

有限会社河井商店 代表取締役 河井明良

株式会社鈴木商会函館事業所【登録事業所】

株式会社鈴木商会北見事業所【登録事業所】

<東北支部>

株式会社メタルセンター福島工場【登録事業所】

<中部支部>

株式会社広田商店 代表取締役 金島昌男

<中国四国支部>

株式会社エコ・ヒグチ 代表取締役社長 伊藤武巳  
産業振興株式会社山口営業所【登録事業所】

●賛助会員

<関西支部>

株式会社 ONE LIVE 代表取締役 土肥容高

② 2025 年度 退会会員

●専業会員

<関東支部>

松岡商店

<中部支部>

株式会社丸杉

株式会社宮崎 高山リサイクルセンター

<中国四国支部>

株式会社フルサワ  
有限会社金村商店

●賛助会員

<本部>

レジル株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社東京西支店八王子支社

<中国四国支部>

日鉄ステンレス株式会社

以 上